

本社・研究開発本部

本社・研究開発本部



所在地 横浜市金沢区
業務内容 企画・管理・研究開発
業務開始 1991年2月
従業員数 556人

コメント

本社および研究開発本部では、ばね、シートの横浜工場とともに、隣接する景勝地や周辺地域の環境に配慮した事業活動を行っています。また、冷房時の室温28度厳守やクールビズ活動の実施・推奨など、省エネルギー活動も積極的に推進しています。

2005年度および2006年度の取り組み

環境負荷低減のための研究開発の促進

●2005年度は、環境負荷低減に貢献するための研究開発を積極的に行いました。2006年度も引き続き、環境に配慮した製品および技術の研究開発を推進していきます。

化学物質の管理

●ニッパツで保有する各種化学物質について、PRTR法に基づく保有量および排出量管理を実施しています。また、多種類の化学物質を扱う研究開発部門においては、化学物質管理システムを構築し、定着運用を行っています。

■水質:本館棟(規制値:横浜市下水道条例)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5~9	7.9	6.9	7.5
油分	5	3.4	0.00	1.0
Fe	3	0.6	0.03	0.2
Zn	1	0.2	0.01	0.1
Ni	1	0.1	0.00	0.03
T-Cr	2	0.1	0.01	0.02
フッ素	8	6.2	0.01	0.7

単位:mg/ℓ

■水質:研究開発棟(規制値:横浜市下水道条例)

項目	設備	規制値	実績		
			最大	最小	平均
pH	研究開発棟1	5~9	7.9	7.0	7.42
	研究開発棟2		8.2	6.2	7.0
油分	研究開発棟1	5	3.3	0.3	1.24
	研究開発棟2		2.0	0.3	1.0
Fe	研究開発棟1	3	0.5	0.05	0.22
	研究開発棟2		1.0	0.02	0.2
Zn	研究開発棟1	1	0.2	0.00	0.05
	研究開発棟2		0.2	0.01	0.1
Ni	研究開発棟1	1	0.1	0.01	0.03
	研究開発棟2		0.1	0.01	0.04
T-Cr	研究開発棟2	2	0.8	0.01	0.1
フッ素	研究開発棟2	8	1.2	0.02	1.2

単位:mg/ℓ

■大気(規制値:大気汚染防止法、横浜市指導要綱)

物質	設備	規制値	実績	
			NOx	ばいじん
NOx	温水ボイラー	A	0.065	0.009
		B	0.075	0.035
	冷温水発生器	A	0.066	0.029
		B	0.046	0.005
ばいじん	温水ボイラー	A	0.05	0.031
		B	0.05	0.034
	冷温水発生器	A	0.05	0.025
		B	0.05	0.041

NOx単位:m³N/h ばいじん単位:g/m³N

ばね生産本部

ばね横浜工場



所在地 横浜市金沢区
生産品目 ばね・コイルばね・ラジスロッド
操業開始 1987年11月
従業員数 333人

工場長コメント



工場長 赤松 英夫

当工場は、従業員および関係者が、日々身近な環境に関する感性を磨いています。そして、全員で取り組む「地球にやさしいばねづくり」をめざします。

考え方と方針

当工場は、「地球にやさしいばねづくり」を実現するために、環境保全、省エネルギー、廃棄物削減などの環境管理活動を工場運営の重要基盤の1つとして展開し、従業員の環境意識高揚を図ります。

2005年度および2006年度の取り組み

廃棄物削減と資源化

●洗浄廃液の工場内施設での排水処理の100%実施により、前年度比、産業廃棄物の排出量指数で21.0%の削減を達成しました。
●日常的に発生する廃棄物は、2005年度通期実績で99.9%の資源化を維持しています。

環境負荷物質の削減

●生産活動で生じる排水が工場敷地外に流出する可能性を洗い出し、新規水槽設置と監視システムの構築、連絡網整備により汚染リスクを撲滅することができました。

■大気(規制値:大気汚染防止法、横浜市指導要綱)

物質	設備	規制値	実績	
			NOx	ばいじん
NOx	金属加熱炉	A	0.125	0.029
		B	0.108	0.035
		C	0.189	0.027
		D	0.151	0.040
		E	0.106	0.039
ばいじん	金属加熱炉	A	0.163	0.038
		B	0.105	0.043
		C	0.089	0.089
		D	0.073	0.042
		E	0.051	0.039
ばいじん	金属加熱炉	A	0.1	0.03
		B	0.1	0.02
		C	0.1	0.02
		D	0.1	0.03
		E	0.1	0.03
ばいじん	金属戻し炉	A	0.1	0.04
		B	0.1	0.04
		C	0.1	0.03
		D	0.1	0.05
		E	0.1	0.02

NOx単位:m³N/h ばいじん単位:g/m³N

■水質(規制値:横浜市下水道条例)

項目	規制値	実績			項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均			最大	最小	平均
pH	5~9	7.5	6.4	7.1	Ni	1	0.3	0.03	0.1
油分 鉱物油	5	4.3	0.1	0.9	Mn	1	0.2	0.01	0.04
油分 動植物油	30	4.4	0.1	1.1	フッ素	8	3.1	0.01	0.5
Fe	3	0.5	0.03	0.2	ほう素	10	0.7	0.01	0.3
Zn	1	0.5	0.01	0.1					

単位:mg/ℓ

滋賀工場



所在地 滋賀県甲賀市
生産品目 コイルばね・スタビライザ・トーションバー
操業開始 1973年11月
従業員数 265人

工場長コメント



工場長 森 雅彦

滋賀工場スローガン「STPM活動で活き生き進化 滋賀工場」の7本柱の活動の1つとして、全員参加できる環境保全活動を通じて「環境にやさしいばねづくり」を積極的に推進します。

考え方と方針

滋賀工場スローガン「STPMで活き生き進化、滋賀工場」のもと、STPM活動の7本柱の1つである環境保全を中心に、全員参加できる環境保全活動に具現化して環境にやさしいばねづくりを積極的に推進します。

2005年度および2006年度の取り組み

省エネルギー活動

●事務所棟(2F)省エネタイプ空調設備更新による電力消費の削減
●2005年度同様に省エネ型照明器具(ハロゲン灯)への変更(50灯予定)

廃棄物削減活動

●2005年度採用した汚泥循環方式の問題点を解決してさらなる汚泥生成量と薬品購入量の削減を図る。
●汚泥容器改善による水分除去(排出量の削減)
●吸油シートの洗濯再利用による廃プラスチック量の削減

地球環境保全への取り組み

●滋賀工場は従来から加熱用燃料ガスはLPGを使用してきたが、地域の環境整備と経済的効果から2007年度からLNGへの切替を計画しており、その効果としてCO₂の排出量19%削減が期待される。2006年度はその準備年と位置付けている。

■大気(規制値:大気汚染防止法)

物質	設備	規制値	実績	
			NOx	ばいじん
NOx	金属加熱炉	A	300	50
		B	300	42
		C	180	52
ばいじん	金属加熱炉	A	0.25	0.05
		B	0.25	0.10
		C	0.25	0.06

NOx単位:ppm ばいじん単位:g/m³N

■水質(規制値:水口町協定)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	6~8	8.0	7.0	7.6
BOD	20	6.0	0.5	2.0
COD	20	6.0	1.0	3.0
SS	10	9.5	0.0	2.4
油分	3	1.8	0.1	0.9
総窒素	12*	11.5	1.5	5.4
総りん	1.2*	0.2	0.0	0.1

※滋賀県条例 単位:mg/ℓ

シート生産本部

群馬工場



所在地 群馬県太田市
生産品目 自動車用シート
操業開始 1986年12月
従業員数 365人

【尾島地区】
群馬県太田市
自動車用シート
1986年12月
365人

【太田地区】
群馬県太田市
自動車内装品
1969年7月
尾島地区に含む



工場長 菊地 一夫

工場長コメント

新田の歴史を今に残す田園に囲まれた工場です。環境保護のため地域社会と積極的に連携し、全員参加で環境負荷物質の削減、廃棄物削減とリサイクル、省エネルギーに取り組み、地球にやさしいシート工場を継続的にめざします。

考え方と方針

当工場は、安全で人にやさしい「自動車用座席」および「自動車用内装品」を生産し、豊かな自動車社会に貢献しています。設計、製造から出荷まで一貫して活動していることを踏まえ、製品および設備の設計段階から省資源、リサイクル、および環境負荷低減の可能性を追求していきます。

2005年度および2006年度の取り組み

省エネルギー

- 2005年度は、一部の工場棟屋根の断熱塗装を実施しました。目的は、屋根からの輻射熱を低減しやさしい職場環境を維持することです。実施前後の効果では、屋根の表面温度差が14.5~18℃の結果を得ることができました。
- 2006年度は、改正省エネ法に鑑み電力モニタリングシステム導入を計画しています。システム導入により、エネルギー使用量の把握・記録・分析を実施し電力原単位削減を図ります。

廃棄物削減と再資源化

- 2005年度は、事務所および各職場に分別ステーションを設置しました。スタート当初は、廃棄物のルールに不明な部分があり、各職場で定期的にチェックを行いその結果を正誤表で確認しました。
- 2006年度は、さらにルールを強化し個人ごみの持帰りなどの順守徹底を図り、廃棄物の削減をめざします。また、サーマルリサイクルからマテリアルリサイクルへの展開を推進していきます。

■大気(法規制外設備のため自主規制値)(尾島地区)

物質	設備	規制値		実績	
		A	B	最大	最小
NOx	ボイラー	300	78		
		300	44		
		300	61		
ばいじん	ボイラー	0.2	0.06		
		0.2	0.04		
		0.2	0.06		

NOx単位:ppm ばいじん単位:g/m³N

■水質(規制値:尾島町協定)(尾島地区)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	6~8	7.4	6.0	6.7
BOD	10	3.0	0.0	1.7
SS	10	5.5	0.0	1.9
油分 鉱物油	5	2.4	0.1	1.2
油分 動植物油	30	3.6	0.1	1.5

単位:mg/l

■水質(規制値:群馬県条例)(太田地区)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5.8~8.6	7.8	7.1	7.4
BOD	40	7.0	0.7	3.8
COD	40	12.0	4.0	8.5
SS	50	17.0	2.0	6.5
油分	5	2.4	0.2	1.2

単位:mg/l

シート横浜工場



所在地 横浜市金沢区
生産品目 自動車用シート・内装品
操業開始 1990年4月
従業員数 364人



工場長 増田 耕

工場長コメント

金沢八景、富岡そして海の公園といった横浜の景勝地の環境を守るべく、地道な努力の継続により、周辺地域の模範となる事業所をめざします。

考え方と方針

当工場は、環境にやさしい工場づくりをめざすとともに、地球の美しい自然を後世に残す強い意志のもと、地球環境への配慮を工場運営の重要基盤の1つと考え、すべての事業活動における環境保全の向上および社会への貢献を継続的に実施していきます。

2005年度および2006年度の取り組み

廃棄物削減と再資源化

- 2005年度は、新規プロジェクトの増加により試験・実験後の廃却品も大幅に増加しましたが、2004年より実施している徹底した解体分別により再資源化率99.4%を達成しました。
- 2006年度も、2005年度以上の新規プロジェクトの増加が予想されますので、さらなる解体分別により再資源化率99%以上を維持します。
- 2005年8月に開所した「トレーニングプラザの環境コーナー」を使用して全従業員への環境教育を実施し、適正な分別による廃棄物削減・再資源化率の向上を推進しています。

環境保全への対応

- ウレタン原料供給ポンプを、構造上液漏れが発生しないマグネットを使用した「ノンシールポンプ」に更新し、磨耗による漏洩防止対策を実施しました。(コールドウレタン全系統8台を更新完了)
- 不慮の大雨でも社外へ油水を流出させない「金属スクラップ・廃棄物置場」を2006年度に設置予定です。

■大気(規制値:大気汚染防止法、横浜市指導要綱)

物質	設備	規制値		実績	
		A	B	最大	最小
NOx	ボイラー	0.067	0.065		
		0.067	0.065		
ばいじん	ボイラー	0.05	0.011		
		0.05	0.014		

NOx単位:m³N/h ばいじん単位:g/m³N

■水質(規制値:横浜市下水道条例)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5~9	7.0	6.2	6.7
油分 鉱物油	5	3.0	0.2	1.1
油分 動植物油	30	8.9	0.1	3.9
Fe	3	0.5	0.1	0.15
Zn	1	0.7	0.0	0.08
Ni	1	0.5	0.0	0.08

単位:mg/l

豊田工場



所在地 愛知県豊田市
生産品目 自動車用シート・内装品
操業開始 1961年6月
従業員数 297名



工場長 坂本 博樹

工場長コメント

豊田工場が末永く地域に愛される工場となるよう、周辺地域への環境の配慮と環境意識向上に向けた社員教育を積極的に行っています。

考え方と方針

当工場は、安全で人にやさしい「自動車用座席」および「自動車用内装品」を生産し、豊かな自動車社会の発展に貢献していくとともに、設計、製造から出荷まで一環して活動していることを踏まえ環境保全の向上と社会への貢献、地域環境への配慮を継続的に実施していきます。

2005年度および2006年度の取り組み

地域環境に配慮した騒音防止活動の取り組み

- 工場の拡大に伴い近隣住民に配慮した騒音対策は豊田工場の最重要課題です。2005年度は、フル2直で稼働しているプレス設備スクラップ回収口(スクラップホッパー)の建屋拡張と防音シャッターの2重化を行うことにより夜間騒音対策を行いました。

省エネルギー

- 2006年度は、第1種エネルギー指定工場への準備として工場内を「動力、電灯量、空調機電力量」など59項目に細分化し自動計測できる電力計を設置し、きめ細かいエネルギー管理を実施していきます。これにより電源の集約化、エアーコンプレッサの工場内分割化などを行的に射した省エネルギー活動を行っていきます。

■大気測定対象設備無し

■水質(規制値:下水道法)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5~9	7.8	6.5	7.2
BOD	600	3.0	1.0	2.3
COD	600	9.0	1.0	5.7
SS	600	7.0	1.0	3.1
油分	5	3.2	0.2	1.2
Zn	5	0.3	0.0	0.08
Cu	3	0.7	0.0	0.08

単位:mg/l

精密ばね生産本部

厚木工場



所在地 神奈川県愛甲郡愛川町
生産品目 薄板ばね・精密プレス品
操業開始 1970年11月
従業員数 443人



工場長 北村 好一

工場長コメント

「美しい地球」を守るために、従業員一人ひとりの環境に対する意識を高め、自らが環境保全活動を実行できるよう、環境教育に取り組み「地球にやさしい工場づくり」をめざします。

考え方と方針

当工場は、薄板ばねを中心に自動車関連製品・情報機器関連製品などの高精度、高品質、高純度製品を開発し生産しています。環境保全活動をスパイラルアップさせながら、地域と密着した環境対応型工場をめざします。相模川と中津川にはさまれた清らかなこの環境をいつまでも大切に守るべく、従業員全員の意識向上を図り、「地球にやさしい工場づくり」をめざします。

2005年度および2006年度の取り組み

廃棄物削減と再資源化

- 2004年2月より再資源化率99%以上を達成し、現在では99.9%以上を維持しています。
- 2005年からは廃棄物総量の削減に向けて、部署ごとに削減量を競い合う運動を行っています。

環境負荷物質の削減

- 代替フロンを全廃を会社方針通り2006年3月末に達成しました。
- 主力製品であるメカパーツ部品の鉛フリー化を達成しました。
- プリンター部品と一部の自動車部品の鉛フリー化については先客とともに本年度中の目標を進めています。

■大気(規制値:大気汚染防止法)

物質	設備	規制値	実績
NOx	温水ボイラー	A 250	88.9
		B	
ばいじん	温水ボイラー	B 0.3*	0.06

*神奈川県条例 NOx単位:ppm ばいじん単位:g/m³N

■水質(規制値:下水道法)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5~9	7.6	6.7	7.1
BOD	600	37.0	6.2	15.1
SS	600	25.0	1.0	8.9
油分 鉱物油	5	4.8	0.2	1.7
油分 動植物油	30	9.1	0.9	3.6
Fe	10	1.6	0.2	0.5
総窒素	125	25.2	6.2	14.0
フッ素	8	1.5	0.0	0.3
ほう素	10	1.1	0.0	0.2

単位:mg/ℓ

伊那工場



所在地 長野県上伊那郡宮田村
生産品目 線ばね・精密加工品
操業開始 1943年12月
従業員数 362人

【箕輪地区】
長野県伊那市
機能部品
2004年8月
59人



工場長 川鍋 賢治郎

工場長コメント

中央アルプスの麓に位置する伊那工場。この信州の自然を後世に残すため、全員参加で地球にやさしく、地域に根ざした工場づくりを推進していきます。

考え方と方針

当工場は、自動車の主要部品であるエンジンのバルブスプリングをはじめ各種線ばね、機能部品および半導体、液晶パネルの検査用機器など高品質、高機能で地球環境への負荷が少ない製品を開発・製造しています。

人々の心身を癒す伊那谷の静謐な環境、この状態がいつまでも続くよう社会・地域と共生、環境保全活動に従業員全員で取り組みます。

2005年度および2006年度の取り組み

廃棄物削減と再資源化

- 排水処理施設を新規導入したことで、従来外部委託として排出していた含油排水などを工場内で処理できるようになり、廃棄物量を削減しました。
- また、新設した処理施設から新たに排出された汚泥も再資源化し、地球環境負荷の低減を図りました。

省エネルギー

- 工場内のコンプレッサーをインバーターコンプレッサーに変更したことで、空気使用量に連動した電力消費となり省エネルギーを実現しました。

■大気(規制値:大気汚染防止法)

物質	設備	規制値	実績
NOx	暖房用ボイラー	A 250	53.1
		B 250	49.4
		C 250	70.5
ばいじん	暖房用ボイラー	A 0.3	0.05
		B 0.3	0.06
		C 0.3	0.07

NOx単位:ppm ばいじん単位:g/m³N

■水質(規制値:長野県条例)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5.8~8.6	8.4	6.7	7.2
BOD	20	8.0	1.0	2.6
COD	20	16.0	1.0	4.7
SS	30	13.0	1.0	3.3
油分	5	2.1	0.1	1.0
Fe	10	0.6	0.03	0.2
Cu	3	0.2	0.00	0.04
総窒素	120	6.4	1.9	3.5
総りん	16	0.1	0.01	0.03

単位:mg/ℓ

DDS事業本部

DDS駒ヶ根工場



所在地 長野県駒ヶ根市
生産品目 HDD用サスペンション
操業開始 1983年11月
従業員数 443人



工場長 津山 元宏

工場長コメント

クリーンな駒ヶ根の環境下でクリーンな製品を送り出す工場として、環境にやさしい工場づくりをめざし、全員参加による地域と一体となった環境保護活動を推進しています。

考え方と方針

当工場は、先端技術を駆使してハードディスク用サスペンションを生産しています。自然環境に恵まれたこの地を健全な状態で後世に引き継ぐため、「環境にやさしい工場づくり」をめざし、事業活動を通して継続的な環境保全活動を推進します。また、省資源、省エネルギー、廃棄物削減およびリサイクルなどを実施するとともに、地域社会における環境保全に取り組みます。

2005年度および2006年度の取り組み

廃棄物削減と再資源化

- 再資源化率99%以上を維持し、廃プラスチック類のマテリアルリサイクル化による処理費削減、段ボールの返却による排出量削減を実施しました。
- 2006年度は教育改善推進センターでの教育により分別を徹底し、再資源化率99%以上を維持するとともに、再資源化内容のレベルアップに取り組みます。

省エネルギー

- 第2工場の屋根を二重折半化し、2005年度夏季の空調電力使用量を106,347kWh削減しました。
- 旧型プレス機に搭載のハイドロプレスユニットをサーボプレスユニットに交換し、コンプレッサーエアーの消費量を削減しました。

■大気測定対象設備無し

■水質(規制値:長野県条例)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5.8~8.6	8.3	7.0	7.6
BOD	20	9.0	1.0	3.8
COD	20	18.0	1.0	4.8
SS	30	7.0	0.0	1.7
油分	5	3.3	0.0	1.1
Cu	3	0.2	0.01	0.05

単位:mg/ℓ

産機事業本部

伊勢原工場 接合・セラミック部/特品部



所在地 神奈川県伊勢原市
 生産品目 ろう付品・配管支持装置・特殊ばね
 操業開始 1993年3月
 従業員数 140人



接合・セラミック部長
茅本 隆司

部長コメント

晴れた日は富士山を望める美しい町です。「地球にやさしい」「もったいない!」を合言葉に、法令順守は当然のこととし、高い道徳性をもって地域に好かれる模範工場をめざします。

考え方と方針

当工場は、多くの部門が集し多岐にわたる事業を展開しています。そのすべての事業活動の中で、環境保全活動に取り組み、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減、環境負荷物質の低減など、継続的に改善を実施していきます。

2005年度および2006年度の取り組み

省エネルギー

●コーゼネシステムの導入およびコンプレッサーの台数制御装置導入を2005年度に実施しました。2006年度4月からの運用によりエネルギー指数前年比1%減の達成に向けて取り組みます。

廃棄物削減と再資源化

●分別・保管の徹底により2005年度通期で再資源化率100%を達成しました。梱包荷姿改善などにより廃棄物の削減を推進します。

環境負荷物質の削減

●めっき、塗装関係の六価クロム削減および鉛ガラス削減など、グリーン調達を推進します。

■大気(規制値:大気汚染防止法)

物質	設備	規制値		実績	
		A	B	A	B
NOx	冷水ボイラー	50	37	150	54
		0.1*	0.03	0.1*	0.04
ばいじん	冷水ボイラー	0.1*	0.03	0.1*	0.04
		0.1*	0.04	0.1*	0.04

※神奈川県条例 NOx単位:ppm ばいじん単位:g/m³N

■水質(排水量50m³/h未満のため自主管理)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5.8~8.6	7.7	6.8	7.3
BOD	130	13.0	1.5	6.7
COD	130	30.0	5.0	15.5
SS	160	9.0	1.0	5.0
油分	5	3.4	0.1	1.0
Fe	3	0.5	0.1	0.2
Zn	1	0.2	0.0	0.1

単位:mg/ℓ

産機駒ヶ根工場 化成品・電子部品部



所在地 長野県駒ヶ根市
 生産品目 特殊発泡ポリウレタン製品
 金属ベースプリント配線基板
 操業開始 1981年12月
 従業員数 130人



化成品・電子部品部長
川口 博正

部長コメント

2つのアルプスが映える緑豊かな景勝地のもとで、当社の「地球環境行動指針」と「地球環境行動計画」をもとに、地域に根ざした環境型社会への取り組みを全従業員で推進していきます。

考え方と方針

当工場は、2つのアルプスが映える緑豊かな景勝地にあり、機能性ウレタン製品およびプリント配線板の生産を行っています。

ニッパツの行動指針、行動計画をもとに、地域に根ざした循環型社会への取り組みを全従業員で推進します。

2005年度および2006年度の取り組み

環境負荷物質の削減

●ウレタン発泡機洗浄剤塩化メチレンの他洗浄剤への代替を推進し、2005年9月に全廃しました。今後は検査ガスSF6の代替に取り組みます。

省エネルギー

●コンプレッサーの集約とコンプレッサー室の環境改善を実施し、負荷低減を図りました。
 ●工場内エア配管のリークチェックを実施し、負荷低減に取り組みます。

環境管理体制の強化

●排水処理設備の監視戸を設置し、管理強化を図ります。

■大気(規制値:大気汚染防止法)

物質	設備	規制値		実績	
		A	B	A	B
NOx	温水ボイラー	180	54	180	51
		180	54	180	54
	多段プレスボイラー	180	55	180	95
		180	95	180	95
ばいじん	温水ボイラー	0.3	0.07	0.3	0.03
		0.3	0.03	0.3	0.07
	多段プレスボイラー	0.3	0.07	0.3	0.04
		0.3	0.02	0.3	0.02

NOx単位:ppm ばいじん単位:g/m³N

■水質(規制値:長野県条例)

項目	施設	規制値	実績		
			最大	最小	平均
pH	第一生産棟	5.8~8.6	8.4	7.5	7.8
			8.4	6.4	7.1
BOD	第一生産棟	20	3.0	0.5	1.4
			19.0	2.0	7.5
COD	第一生産棟	20	4.0	1.0	1.4
			17.0	3.0	9.2
SS	第一生産棟	30	2.2	1.0	1.2
			10.5	1.0	2.7
油分	第一生産棟	5	2.0	0.2	1.1
			4.0	0.2	1.3
Fe	第二生産棟	10	0.5	0.01	0.3
			0.5	0.01	0.1
Cu	第二生産棟	3	0.2	0.01	0.1
			0.2	0.01	0.1

単位:mg/ℓ

野洲工場 パーキング部



所在地 滋賀県野洲市
 生産品目 立体駐車装置
 操業開始 1996年10月
 従業員数 56人



パーキング部長
大塚 敏文

部長コメント

湖国独特の豊かな自然界のさまざまな変化を、自然界が発する警告と受け止め、環境は壊れやすく復元し難いことを認識し、従業員全員で地球にやさしい工場づくりをめざします。

考え方と方針

当工場は、環境への負荷軽減をスローガンに機械式駐車装置などの高品質、高機能部品を開発、製造しています。今後もより一層の地球環境保護を推進するとともに、琵琶湖を囲む緑豊かな山々、青い空と河川の流れなどのすばらしい環境を後世に継承するため、環境保全の継続的改善に取り組んでいきます。

2005年度および2006年度の取り組み

省エネルギー

●2005年来実施している工場照明(ハロゲン灯)の天候管理および設備稼働の時間管理の実施により、エネルギーコストを削減しました。
 ●原単位が目標準未達であったため、2006年度は照明照度の見直しやコンプレッサー稼働の見直しを含め、展開をさらに強化していきます。

廃棄物削減と再資源化

●汚泥のリサイクル化を含め再資源化率99%以上を維持しています。
 ●日常的に発生している廃棄物はさらに分別強化を図り、リサイクル化を図りました。
 ●塗装前処理装置の洗浄法変更による汚泥量の削減に加え、埋め立て廃材の分別強化による、サーマルリサイクル化を図ります。

■大気(規制値:大気汚染防止法)

物質	設備	規制値		実績	
		A	B	A	B
NOx	ボイラー	150	50.7	230	20.9
		150	50.7	230	20.9
ばいじん	乾燥炉	0.1	0.05	0.1	0.07
		0.1	0.05	0.1	0.07

NOx単位:ppm ばいじん単位:g/m³N

■水質(規制値:下水道法)

項目	規制値	実績		
		最大	最小	平均
pH	5~9	7.6	6.7	7.3
BOD	600	15.3	1.0	4.5
COD	—	34.7	2.0	7.8
SS	600	7.0	1.0	3.6
油分	5	4.0	0.1	1.3
Ni	1	0.4	0.1	0.2
総窒素	60	31.5	13.9	17.7
総りん	10	0.4	0.0	0.2

単位:mg/ℓ

	ニッパツの歩み	国内関連会社の歩み	社会の動き
1967年			公害対策基本法施行
1970年			公害国会(公害対策諸法成立)
1971年	7月 環境管理課設立(自主測定・分析の体制確立)		環境庁設置
1985年			ウィーン条約(オゾン層保護)採択
1987年			モントリオール議定書(オゾン層保護)採択
1990年	1月 ニッパツ「企業理念」制定		
1991年	10月 「リサイクル連絡会」発足		リサイクル法施行(自動車指定)
1992年	9月 「地球環境対策委員会」発足 (3分科会発足:一般廃棄物、洗浄、発泡)		国連地球サミット開催(ブラジル) 地球温暖化防止条約採択
	11月 第1回地球環境フォーラム開催		
1993年	5月 「環境ボランティアプラン」制定(3分科会追加: 産業廃棄物、省エネルギー、製品技術)		環境基本法施行
1994年	12月 第2回地球環境フォーラム開催		
	12月 特定フロン等全廃達成(1年前倒し)		
1995年	1月 発泡分科会終了 環境マネジメント分科会発足		容器包装リサイクル法施行 (社)日本自動車部品工業会環境部会発足
	10月 横浜事業所がISO14001トライアルスタート		第1回地球温暖化防止会議(COP1)
	12月 第3回地球環境フォーラム開催		
1996年	3月 横浜事業所がISO14001トライアル終了		ISO14001制定
	4月 ばね横浜工場がISO14001取得準備スタート		JISQ14001発行
	10月 全工場でISO14001の取得方針を決定		
	12月 第4回地球環境フォーラム開催		
	12月 環境ボランティアプラン改定(第1次)		
1997年	1月 ばね横浜工場がISO14001認証取得 (工場取得第1号)		(社)日本自動車部品工業会環境委員会発足
	9月 環境ボランティアプラン改定(第2次)		第3回地球温暖化防止会議(COP3) 京都議定書採択
1998年	1月 地球環境問題講演会を開催		地球温暖化対策推進法施行
	3月 滋賀工場がISO14001認証取得		
	3月 群馬工場がISO14001認証取得		
	7月 地球環境対策委員会の組織変更		
	11月 産機駒ヶ根工場がISO14001認証取得		
1999年	1月 環境ボランティアプラン改定(第3次)	4月 日発陸会総務部会で廃棄物データ収集を開始	改正省エネルギー法施行
	2月 第5回地球環境フォーラム開催	6月 環境対策研修会を開始(年4回開催)	
	3月 豊田工場がISO14001認証取得		
	5月 シート横浜工場がISO14001認証取得		
	6月 伊那工場がISO14001認証取得		
2000年	6月 第6回地球環境フォーラム開催	9月 環境対策研修会を継続開催(年2回開催)	ダイオキシン類対策特別措置法施行
	6月 DDS駒ヶ根工場がISO14001認証取得		PRTR法施行
	7月 環境ボランティアプラン改定(第4次)		循環型社会形成推進基本法施行
	8月 野洲工場がISO14001認証取得		第6回地球温暖化防止会議(COP6)
	11月 厚木工場がISO14001認証取得		
	11月 Y530(横浜事業所ごみゼロ)プロジェクト発足		
2001年	2月 環境ボランティアプラン改定(第5次)	5月 (株)ホリキリがISO14001認証取得	環境省設置
	4月 伊勢原工場がISO14001認証取得 (全工場完了)	8月 横浜機工(株)がISO14001認証取得	家電リサイクル法施行
	6月 第7回地球環境フォーラム開催	11月 (株)トーブラがISO14001認証取得	
2002年	1月 横浜事業所にリサイクルセンター完成	3月 日発テレフレックスモース(株)が ISO14001認証取得	土壌汚染対策法公布 自動車リサイクル法公布
	2月 環境ボランティアプラン改定(第6次)		日本が京都議定書を批准
	5月 第8回地球環境フォーラム開催	10月 日発販売(株)がISO14001認証取得	
	6月 第10回横浜環境保全活動賞を受賞	10月 日発陸会技術部会地球環境問題分科会を発足	
	12月 横浜事業所が平成14年度かながわ地球環境 賞受賞		
2003年	2月 環境ボランティアプラン改定(第7次)	5月 日発陸会技術部会地球環境問題分科会を開催	自動車リサイクル法施行
	3月 横浜事業所でゼロエミッション達成	7月 日発運輸(株)がISO14001認証取得	土壌汚染対策法施行
	6月 第9回地球環境フォーラム開催	10月 (株)スミハツがISO14001認証取得	改正省エネルギー法施行
		10月 ユニフレックス(株)がISO14001認証取得	
		11月 日本シャフト(株)がISO14001認証取得	
2004年	2月 環境ボランティアプラン改定(第8次)	7月 ニッパツサービス(株)がISO14001認証取得	改正大気汚染防止法公布
	6月 第10回地球環境フォーラム開催	7月 日発陸会技術部会地球環境問題分科会を開催	
	12月 厚木工場が平成16年度かながわ地球環境賞 受賞	9月 東北日発(株)がISO14001認証取得	
2005年	1月 横浜事業所がPRTR大賞で奨励賞受賞	3月 フォルシア・ニッパツ九州(株)がISO14001 認証取得	改正自動車リサイクル法施行
	2月 環境ボランティアプラン改定(第9次)		京都議定書発効
	5月 第11回地球環境フォーラム開催	3月 (株)スニックがISO14001認証取得	
		7月 関連会社首脳会議を開催	
2006年	2月 環境ボランティアプラン改定(第10次)	3月 日発精密工業(株)がISO14001認証取得	改正省エネルギー法施行
	6月 第12回地球環境フォーラム開催	3月 アヤセ精密(株)がISO14001認証取得	改正地球温暖化対策法施行
		7月 関連会社首脳会議を開催	

国内関連会社	本社所在地	連絡先	主要業務
ニッパン(日発販売株式会社)	〒135-0051 東京都江東区枝川2-13-1	TEL.(03)5690-3001 FAX.(03)5690-3025	自動車部品・用品、自動車用ばね、精密自動車部品、モジュール 化部品、各種産業部品・精密測定機器、光通信関連部品、情報 通信関連機器の販売および輸出入
日発運輸株式会社	〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-10	TEL.(045)788-0811 FAX.(045)701-5521	貨物運送取扱事業、倉庫業および納入に関する一切のサービ ス業務、機械設備の輸送・据付業
株式会社ニッパツサービス	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-32-1 ニッパツ西口ビル	TEL.(045)316-7700 FAX.(045)322-2271	石油・石油製品・自動車部品・用品の販売、化学製品・一般高圧 ガスなどの販売および付帯設備工事、損害・生命保険代理店業、 不動産業
株式会社ニッパツアメニティ	〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-10	TEL.(045)786-7555 FAX.(045)786-7577	ビル総合管理、警備業、緑化事業、印刷、人材派遣業、情報シス テム開発および運営管理
株式会社ジー・エル・ジー	〒212-0057 川崎市幸区北加瀬2-1-12	TEL.(044)599-2471 FAX.(044)588-4814	ゴルフ練習場運営
横浜機工株式会社	〒259-1146 神奈川県伊勢原市鈴川56	TEL.(0463)94-8425 FAX.(0463)94-8435	スタビライザ、照明器具、真空蒸着品の製造販売
株式会社スミハツ	〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-5-5 MY岩本町ビル4F	TEL.(03)3864-6331 FAX.(03)3864-6130	板ばね、コイルばね、分岐器、クリップ、合成まくらぎ、バランス の製造販売
株式会社ホリキリ	〒276-0022 千葉県八千代市上高野1827-4	TEL.(047)484-1111 FAX.(047)484-2442	板ばね、U字形ばね、スタビライザ、スタビリンカーの製造販売
東北日発株式会社	〒024-0334 岩手県北上市和賀町藤根18-25-2	TEL.(0197)73-5221 FAX.(0197)73-7143	コイルばね、精密ばね、異形線ばね、特殊ばね、自動車用シート 部品の製造販売
株式会社アイテス	〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町2258	TEL.(045)813-4777 FAX.(045)812-0840	自動車用シート、内装品の製造販売
フォルシア・ニッパツ株式会社	〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-6-4 みなとみらいビジネススクエア10F	TEL.(045)633-3011 FAX.(045)633-3012	自動車用シートの開発および販売
フォルシア・ニッパツ九州株式会社	〒800-0321 福岡県京都郡苅田町新浜町9-9	TEL.(093)435-3300 FAX.(093)435-2900	自動車用シートの製造販売
株式会社シンダイ	〒444-1301 愛知県高浜市新田町3-3-6	TEL.(0566)52-1221 FAX.(0566)52-1225	自動車および家具用シートスプリング、スチールフレーム、トラ ンクリットトーションバー、サンバイザーワイヤー、トノカバーの 製造販売
株式会社スニック	〒438-0211 静岡県磐田市東平松1403	TEL.(0538)66-5511 FAX.(0538)66-5510	二輪車および自動車用シートの製造販売
ユニフレックス株式会社	〒399-4501 長野県伊那市西真輪北原2445-5	TEL.(0265)76-3280 FAX.(0265)76-3288	コントロールケーブルおよび関連部品の製造販売
アヤセ精密株式会社	〒252-1125 神奈川県綾瀬市吉岡東1-13-6	TEL.(0467)76-7631 FAX.(0467)76-6472	精密薄板ばねの製造販売
特殊発條興業株式会社	〒660-0807 兵庫県尼崎市長洲西通1-10-14	TEL.(06)6401-6041 FAX.(06)6488-9489	スプリングワッシャー、波型ばね座金、薄板ばね、線ばねなどの 製造販売
日発テレフレックスモース株式会社	〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-21-10	TEL.(045)475-8901 FAX.(045)475-8907	マリン、インダストリアル用メカニカルリモートコントロールボックス・コン ロールケーブル、電子式リモートコントロールシステム、ステアリングシス テム(メカニカル式、油圧式)、フットペダル(メカニカル式、電子式)の製造販売
株式会社ニッパツパーキングシステムズ	〒259-1126 神奈川県伊勢原市沼目2-1-49	TEL.(0463)91-8620 FAX.(0463)91-8646	機械式駐車装置全般の計画・販売・施工・メンテナンス・リニュー ーアル、駐車場付帯設備の販売
日本シャフト株式会社	〒236-0003 横浜市金沢区幸浦2-1-15	TEL.(045)782-2561 FAX.(045)783-3559	ゴルフシャフト、金属バット、運動用具、パイプ製品、カーボン複 合製品の製造販売
株式会社トーブラ	〒257-0031 神奈川県秦野市曽屋201	TEL.(0463)82-2711 FAX.(0463)83-4877	自動車用ねじ、ボルトおよび工業用ファスナーの製造販売
日発精密工業株式会社	〒259-1126 神奈川県伊勢原市沼目2-1-49	TEL.(0463)94-5235 FAX.(0463)93-5104	ねじ工具、自動車部品、情報処理機器部品、産業用精密部品の 製造販売
株式会社ニッパツ・ハーモニー	〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-10	TEL.(045)786-7571 FAX.(045)786-7501	建物内外の清掃業務

会社概要 (2006年3月末現在)

商号	日本発条株式会社
設立	1939年(昭和14年)9月8日
資本金	170億957万円
従業員数	10,306名
売上高	3,830億円(2005年度、連結)
本社	〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-10
事業部	ばね生産本部、シート生産本部、 精密ばね生産本部、DDS事業本部、 産機事業本部、STS事業部
工場	横浜工場(ばね/シート)、滋賀工場、 群馬工場、豊田工場、厚木工場、 伊那工場、駒ヶ根工場(DDS/産機)、 伊勢原工場、野洲工場
分館・分室	東京分館、横浜分室
支店・営業所	北関東支店、浜松支店、名古屋支店、 大阪支店、広島支店、福岡営業所
上場	東証第一部(コード5991)
関連会社	国内23社、海外23社

事業分野と主な製品

自動車分野	<ul style="list-style-type: none"> ・板ばね、コイルばね、スタビライザなどの懸架ばね ・シート/内・外装品 ・線ばね/薄板ばね/精密プレス品 ・機能製品 ・アキュムレータ/金属ベローズ ・特殊発泡ポリウレタン製品ほか
情報通信分野	<ul style="list-style-type: none"> ・HDD用サスペンション・メカ製品 ・Microcontactor®(マイクロコンタクタ) ・線ばね/薄板ばね/精密プレス品 ・精密加工品 ・機能製品 ・ろう付品 ・金属ベースプリント配線板 ・特殊発泡ポリウレタン製品
産業・生活分野	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティシステムほか ・立体駐車装置 ・配管支持装置 ・特殊ばね/金属ベローズ ・特殊発泡ポリウレタン製品

【編集後記】

最後までお読みいただき、ありがとうございました。2000年より毎年発行しております「環境報告書」を、昨年度「環境・社会報告書」と改めましたが、今年度はさらに社会性報告に重点をおき、「社会・環境報告書」としました。内容的にはまだまだ不十分な点も多く、今後読者の皆様のご意見・ご要望をいただきながら、報告内容のさらなる充実を図っていきたくと考えております。

つきましては、添付のアンケートにご協力いただき、皆様の率直なご感想をお聞かせいただければ幸いです。

2006年9月

NHKニッパツ
日本発条株式会社

<問い合わせ先>

日本発条株式会社 企画本部広報部
〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-10
TEL: 045-786-7513 FAX: 045-786-7598
ホームページ: <http://www.nhkspg.co.jp/>
Email: b2200@nhkspg.co.jp



古紙配合率100%、白化度85%
の再生紙を使用しています。



この報告書はアメリカ大豆協会認定の大豆油インキを使用しています。